

どんなに優れた医療があっても、診断基準となるデータがあいまいでは、きちんとした治療はできません。医療の進歩にともなって、検査にもより多くのものが求められつつある今日。まさに友愛記念病院を裏から支える縁の下の力持ち、検査科をご紹介します。

### 血液、尿、心電図などの検査に対応

検査科は、当院内の外来や各病棟で採取された血液や尿などを検査する科です。血液の検査の種類によっては、一部、外部の機関へ依頼するものもありますが、緊急性の高いものを中心にほとんどの検査はここで行います。また、輸血が必要な場合に備えて、血液型の確認や輸血用血液の適合性を調べたり、手術まで血液を保管するのも検査科の仕事です。その他、心電図、呼吸機能検査、脳波など生理機能の検査も行います。



【採血室】主に外来の患者さんの採血を行います。

### 環境を整え正確なデータを迅速に提供

検査を依頼してきた外来や病棟へ、正確なデータをより早く提供すること、それが検査科の使命です。なかには、検

査の結果によってその日に出される薬の量が決まるケースもあります。そのような時も、患者さんをできるだけお待たせしないよう、各種検査に迅速に対応できるシステムづくり環境づくりを心がけています。

もちろん、検査結果で異常値が発見された場合には、すぐに主治医に連絡します。必要に応じてスムーズに協力体制がとれるように、他科との連携も深めています。



【一般検査室】主に尿検査を行います。

### 病院全体の方向性と足並みをそろえて

対応できる項目や精度など、検査は、依頼側の求めにきちんと応えられなければ意味がありません。検査科の体制も、常に、病院全体と足なみがそろっている必要があります。

このところ当院では、心臓カテーテル検査の充実や手術の増加などをはじめ、循環器系の病気への対応が充実してきています。こうした病院全体の方向性にそって検査科でも、心電図などの生理検査や輸血への対応を強化しています。